



長崎情報産業協会様主催 クラウド勉強会

日本オラクル株式会社
オラクル・デジタル事業部
2019年5月16日

目次

1. オラクル社 及び組織紹介 - 営業戦略 塩野
2. 世界の今のクラウドビジネス潮流 - エリア営業 寺尾
3. 日本におけるクラウドビジネス事情 - エンジニア 宇賀神
(休憩 及び 交流時間 15分)
4. クラウド デモンストレーション - エンジニア 丸川

会社概要



オラクルコーポレーション

- 設立：1977年6月16日
- 売上高：\$382億 (4兆2784億円) *

- 顧客数：43万社, 175ヶ国
- パートナー：25,000社以上
- 従業員：13万人以上

- R&D投資：\$390億 (2004年以降)
- オンラインコミュニティ参加技術者：1,500万人
- ユーザーグループ：900団体、50万人(会員)
- 支援対象学生数：260万人 (年間)



日本オラクル株式会社

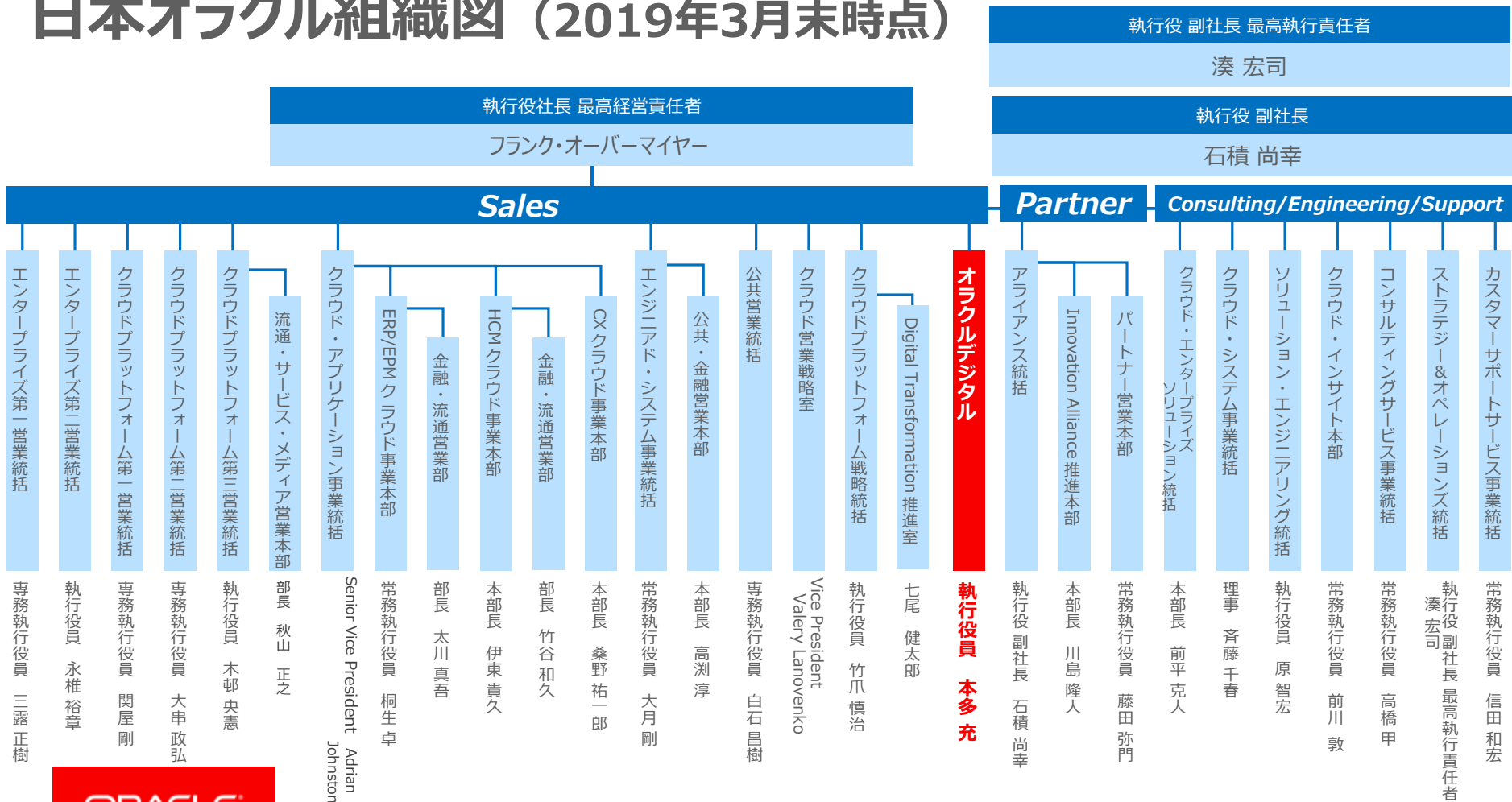
- 設立：1985年10月15日
- 売上高：1702億03百万円*
- 資本金：232億9百万円

- 顧客数：約60,000社
- パートナー：約2,000社
- 従業員：2,500人*

- 本社：東京都港区北青山2-5-8
オラクル青山センター
- 株式店頭公開：1999年2月5日
- 東証一部上場：2000年4月28日

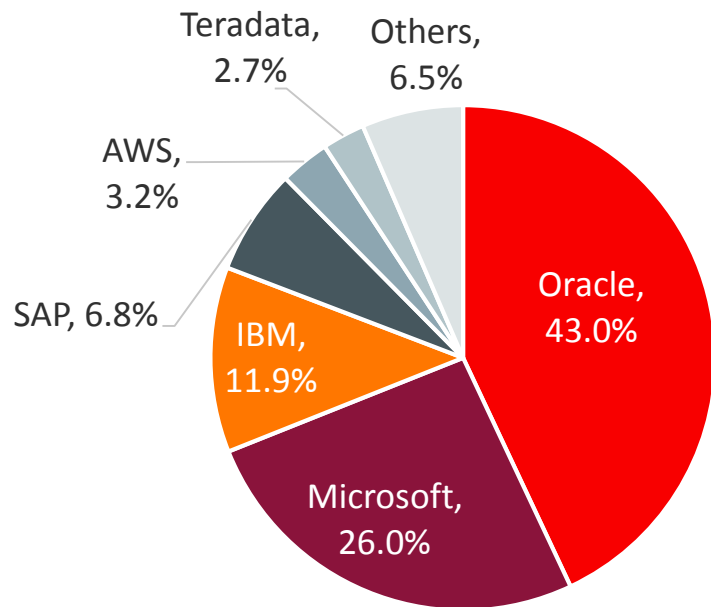


日本オラクル組織図 (2019年3月末時点)

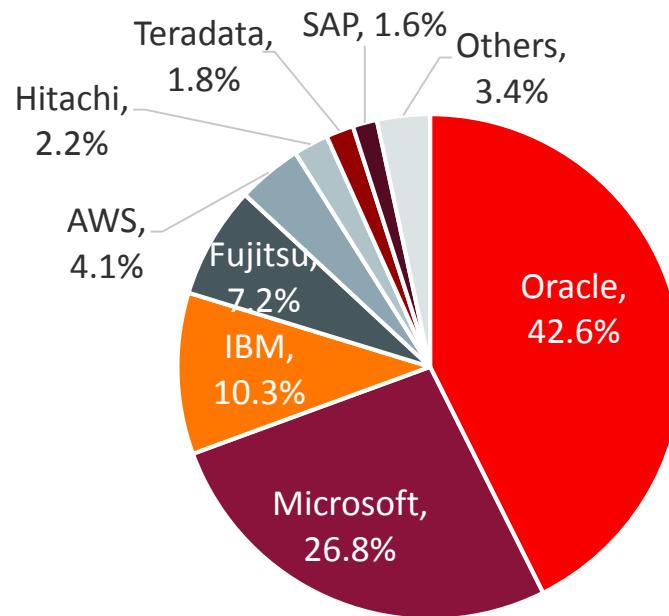


2018年上半期のRDBマーケットシェア

世界
(\$18.2B)



日本
(1.1B)



Data : IDC 2018H1

プラット
フォーム

アプリ
ケーション

インフラ
ストラクチャ

Oracle Cloud

ORACLE®

Oracle Cloud Infrastructureのグローバル拠点



2019年5月8日 東京データセンターオープン！

日本オラクル、東京に自社データセンター開設 「Gen2 Cloud」の核として活用、AWS・Azure対抗にも自信

© 2019年05月08日 15時41分公開

【瀧口明太郎, ITmedia】



FinTechのスペシャリストでマネックスグループ元CTOが語る！

入学金10万円が無料に？！ソフバンクの通信制大学って？

日本オラクルは5月8日、東京都内にデータセンターを開設したと発表した。規模や設備などの詳細は非公開。エンタープライズのワークロード実行に連し、従来型パブリッククラウドのセキュリティ面やコスト面の課題を解消した「第2世代クラウド」 「Generation2 Cloud」 (Gen2 Cloud) の提供基盤として活用する。

同社はこれまで、富士通のデータセンターを通してクラウドサービスを提供しており、国内に自社運営のデータセンターを開設するのは初。独自の設備を構築することで、Gen2 Cloudのアジア太平洋地域への普及を加速させる狙いだ。



https://www.publickey1.jp/blog/19/oracle_cloud6.html

EZニュース

オラクル、「Oracle Cloud」の東京データセンターを開設 年内に大阪にも

Oracle データセンター

12 41 11

EnterpriseZine編集部(著)

2019/05/08 15:30

日本オラクルは2019年5月8日、Oracle Cloudのデータセンターを東京に開設し、運用開始したことを発表した。また、今後6か月以内に、大阪にもデータセンターを開設する計画だ。



東京リージョンでは、「Oracle Autonomous Database」や、次世代クラウド・インフラストラクチャをはじめとするオラクルの「Generation 2 Cloud」サービスにより、企業にセキュリティ、パフォーマンスおよび信頼性に優れたクラウド環境を提供する。



<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1905/08/news103.html>

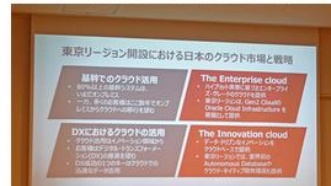
日本オラクル株式会社は2019年5月8日、同社のデータセンター拡張の一環として、東京リージョンを開設し、運用を開始した。

今回は同社が展開している次世代クラウド「Generation 2 Cloud」への、日本国内ユーザからのニーズに応えたもので、今後、東京を中心とし、アジア太平洋地域への展開が行われていく。

発表会に登壇した、日本オラクル 執行役社長兼最高責任者フランク・オバーマイヤー氏。「重要なのは、AWSやMicrosoftなどのコンペティターと比べて、企業カスタマの多くが私たちのOracle Cloudを使用してくれていること。それらを日本国内で提供できるようになったことがとても大きな出来事です」と、日本国内のリージョン開設発表の意義と、日本市場の重要性について語った。



東京リージョン開設における日本のクラウド市場と戦略



<https://gihyo.jp/news/nr/2019/05/0801>

Digital Transformationの推進



出産子育て×AI



街づくり×IoT



観光 ×IoT



交通×IoT



マーケティング×AI



製造×IoT

Digital Transformationの推進を支えるOracle Cloud

お客様のデジタル・トランスフォーメーションを多面的にサポート



出産子育て×AI



見守り×AI



観光×IoT



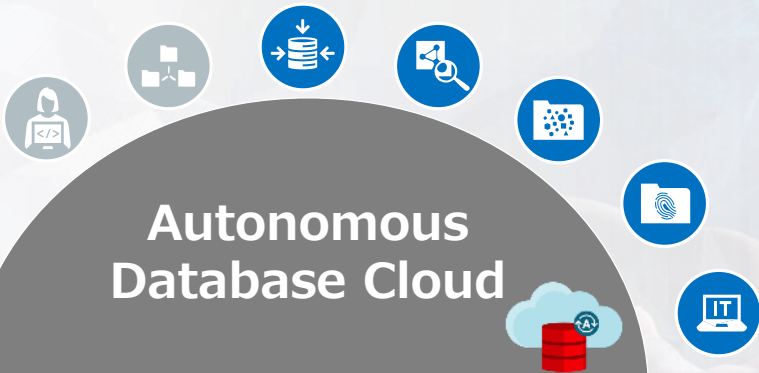
交通×IoT



マーケティング×AI



製造×IoT



Innovation Enablement

様々なユースケースに対応可能な統合化されたオープンプラットフォームでイノベーションの実現をサポート

Data Driven

データ管理のスペシャリティと自律型データベースでデータ活用によるビジネス成長に貢献

Enterprise-Grade

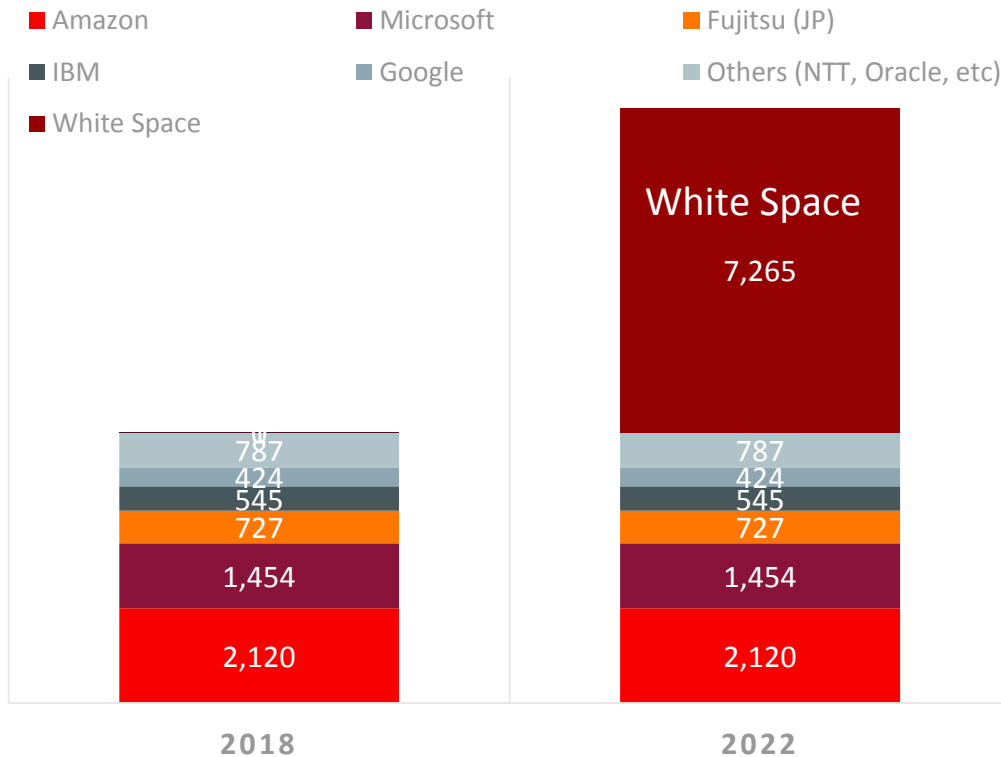
高性能、高セキュリティ、エンタープライズSLAを備える安定したエンタープライズ基盤を最適なコストで提供

日本のクラウド市場の今後の見通し

まだまだ発展途上

IDC ジャパンによると、日本のパブリッククラウドサービス市場は2018年の6,663億円から、2022年には2.8倍の1兆4,655億円まで拡大すると予測されている

JAPAN PUBLIC CLOUD SERVICES MARKET FORECAST (M\$)



ORACLE®